

デバック時間短縮を 実現できるベリカット

ユーザーが語る、
ベリカットの
魅力

■《ベリカット》導入のきっかけは

当時、加工プログラムの精度が上がらなくてとても困っていました。作業者や作成時期によってバラつきもありました。実機に戻してデバック(※1)検証すれば、作業時間が長くなり、機械も占有してしまうので、仕事の流れを大きく遮ってしまいます。「デバック時間をいかに短縮させるか」—この目的を実現するために、ベリカットに飛びつきました。

■《ベリカット》の魅力は

優れているところは、マクロへの対応です。ここまで機械動作に関するマクロプログラムの動きに対応しているものはないと思います。あとは、やはりデバック時間の短縮でしょうか。特に稼働率の良い機械に対しての、デバック時間の長さは本当に煩わしいです。実際、ベリカット導入後、約4割以上短縮できました。内製しているコラムやテーブルなどの工作機械部品では、実生産時間が3倍近く変わりました。ワークを削る実稼働時間が増えれば、生産性向上につながりますし、本当に助かっています。

■他に有益な特長は

加工設備の更新時も、新しい工具や治具のトライなどでデバックが必要となります。それらをベリカットで事前に行えるため、新しい機械への移行がとてもスムーズになったのは、かなり魅力的でしたね。また、オートディフ(※2)機能により、加工忘れなどを確実に防げるのも大きなメリットです。

■《ベリカット》を通じて感じることは

振り返ると工具データを揃えたり、機械の3次元モデルを作成したり、最初の立ち上げまでには、かなりのパワーが必要だったことを思い出します。ただ、ベリカットは、<人間技で無理な事を確実に実現してくれるソフト>です。立ち上げれば、有効だと確信していたので、全く苦にはならなかったですね。

■《ベリカット》検討中の方にメッセージを

現場重視で考えた場合、ベリカットは、非常に有効なツールです。デバック時間も大幅に減りましたし、相当な効果も期待できます。ただ場合によっては、導入から立ち上げまで、相当な時間やパワーがかかるかもしれません。総合的な判断のなかで、ベリカットの有用性を感じられるならば、間違いなく会社全体に貢献してくれるソフトだと確信しています。



YASDA

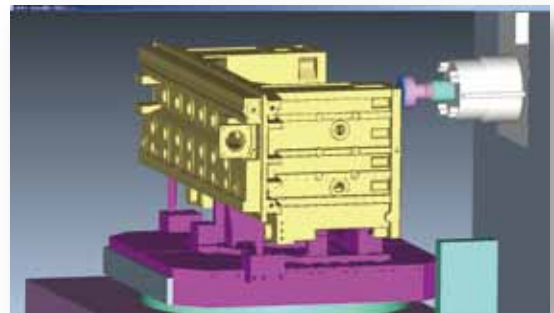
<http://www.yasda.co.jp>

回答者
安田工業株式会社
製造部 生産技術課
松浦道子氏

■ Profile

ものを作るのが好きで、普通科高校卒業後、職業能力開発短期大学校(現・ポリテクカレッジ)に入校。NCプログラムや制御技術に関しての勉強、旋盤、フライス作業などの実訓練を通じて、現場に必要なスキルを学んだ。入社後は、MCオペレータとして活躍。現在は、MCプログラム作業や加工治具の設計・手配、生産現場に対する効率向上に関する全般的な業務を行っている。

YASDAは「最大ではなく最高を目指す」をスローガンに、世界最高峰の超高精度マザーマシンの開発に取り組んでいます。マザーマシンであるマシニングセンターの製造を通じて、産業の発展や社会の進歩に深くかかわっていることを自覚しながら、時代の要請に応えることができる更なる製品開発を目指しています。社内では、自社製品に用いる高精度な部品の加工やユーザーから依頼される難易度の高いテストカットを行っています。



画像提供：安田工業株式会社

Simulated by
VERICUT[®]

■ベリカットとは

航空宇宙産業、自動車、鉄道、金型、家電、発電、重工業など、世界中の生産現場で運用されている工作機械の加工シミュレーションソフトウェア

※1：デバック—NCプログラムの誤りを取り除くこと
※2：オートディフ—CAM上の設計モデルと、ベリカットが切削プロセスをシミュレートした製造モデルとを比較し、自動的に相違点を検出できる機能(オプション)